



76
まいん

しょうぼうしゃ

ミゼット消防車



マイントピア別子端出場ゾーンに展示中の
ミゼット消防車

しょうぼうしゃ ミゼット消防車

は、そのコンパクトな車体で、島の狭い道や急峻な坂を自在に移動することができました。

このミゼット消防車は、平成12年(2000)まで四阪島に置かれていました。現在はマイントピア端出場ゾーンに移され展示されています。

島の防火対策として、大正6年(1917)に蒸気ポンプ2台が設置され、常備消防夫が27人、予備消防夫が60人居ました。

昭和中期には各集落10~20人の分団員がおり、火災予防運動やポンプの整備、ホースの点検等を行っていました。

四阪島を守る

小さな勇姿

頂上のタンクへ海岸より海水をポンプでくみ上げて防火用としていました。

そのタンクからは各集落の消火栓へ配管され、山の落差を利用して消火に当たっていました。

島内には、何か所にも消火栓やホースが設置されていて、ホースをつないで栓を開けるだけの簡単な操作でしたので、女性でも消火にあたることができました。



現在の消防分団と保健室



非常設備配置図

そして、消防車が来るまで、これらを使用できるよう常日頃から練習を重ねていました。

社宅のどの炊事場の壁にも新しい「火の用心」の紙が貼られていました。

冬の火事の多い季節になると各集落ごとに毎夜拍子木を叩いて「火の用心」と言いながら廻っていました。さらに、消防士は毎夜社宅を何回となく巡回し、おかげで四阪島の社宅では火災は発生しませんでした。



何と！制限速度20キロ！！

な〜んでだ？

ミゼット消防車にはナンバープレートがついていません。
何故ついていないのでしょうか？

答えは、裏にあります。

